

第1回VFM・リスク分担WG（概要）

日時：平成25年12月19日（木）15：00～16：30

会場：中央合同庁舎第4号館4階443会議室

出席者：根本委員（座長）、伊藤委員、佐藤委員、宮本委員、石田専門委員、江口専門委員、酒井専門委員、土屋専門委員、廻専門委員

内閣府：持永審議官、井上参事官、國松企画官、山田企画官、真弓参事官補佐、馬場主査、橋主査、西脇政策調査員

議事概要：

○事務局から資料1、資料2、資料3-2について説明。その後、宮本委員から資料3-3、土屋専門委員から資料3-1について説明。

主要な意見は下記のとおり。

[VFM・リスク分担双方に関するもの]

- ・ 空港等の先行検討事業の動向にも留意してはどうか。
- ・ アクションプランに示された新しい事業類型についても、事業終了時も想定して、議論してはどうか。
- ・ VFMやリスクを的確に把握するために、公会計と企業会計の関係について議論してはどうか。また、これらに資する会計データの収集体系等の整理があってもよいのではないか。
- ・ 今後PFIをより浸透させるためには、小規模な地方公共団体の意見を把握してみてもはどうか。
- ・ アクションプランでは新たな事業類型が示されているが、事業類型によりリスクの大きさが異なることを意識して、議論を進める必要があるのではないか。

[VFMに関するもの]

- ・ 財政支出の確実性という見地から、VFMの「ばらつき」にも着目する必要があるのではないか。
- ・ 財政支出削減効果以外にも社会的便益・外部効果があるのではないか。また、それらが利害関係者間にどのように分配されるのかという論点もあるのではないか。

- ・ 政策評価・事業評価との関係も含め、VFMが果たすべき役割についての議論もあるのではないか。
- ・ PPPや公的不動産の有効活用におけるVFM計測やPSC設定の考え方について議論してみてもどうか。

[リスク分担に関するもの]

- ・ リスクを明確に認識する手段について、国内外におけるリスクワークショップの実態等を通じて議論してはどうか。
- ・ ケーススタディ等を通じて、実務上存在しうるリスク分担の課題を把握してはどうか。
- ・ 公共側は債務償還への関心が強いが、民間の創意工夫を誘発するためのリスク管理のあり方についても論点があるのではないか。
- ・ 想定されるリスクをいくつかのカテゴリーに分類して議論してはどうか。
- ・ 収益施設併設型事業の場合、本体事業との間でリスクをどこまで遮断するのかについて議論してはどうか。

以上

(速報のため事後修正の可能性あります)

[問合せ先]

内閣府 民間資金等活用事業推進室

TEL. 03-3581-1810